

リレー連載

Road to Paralympic

第6回 三宮駅周辺のバリアフリー

橋 祐貴

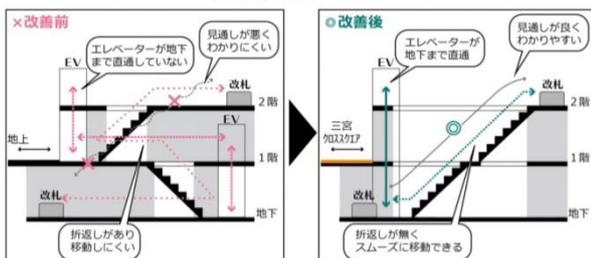
今回は私がリレー連載の番ということで、三宮駅周辺のバリアフリーについて書いていきたいと思います。

兵庫県神戸市のターミナルである三宮には、JR、阪神、阪急、地下鉄、ポートライナーの6路線6駅があり、多くの人々が利用しています。私も出かけるときによく利用する駅です。現在の自宅から三宮へのアクセスはバスの時間が合えばバスを利用しますが、それ以外は阪神とJRを利用しています。阪神に比べJRの方が交通費はかかりませんが、ほかの路線に乗り換えにくいので阪神を利用することが多いです。

三宮駅周辺には地下街があり、東はミント神戸を経てサンパル、西は元町の大丸百貨店まで伸びています。信号もなく雨にも濡れないので各路線の乗り換えにもとても便利です。特に地下駅の地下鉄と阪神との乗り換えは上下移動が少ないのでスムーズに乗り換えられます。

ところが地下と地上との移動となるとエレベーターの位置に限られ、遠回りしなくてはならないなど何かと面倒です。特にJRから地下への移動はルートが限られるうえ、利用者数に対してエレベーターの定員が少ないので何台も待たなくてはならず時間がかかります。以前は駅ビルのエレベーターを利用する方法もありましたが、ビルの建て替えで利用できなくなりました。これから始まる三宮駅周辺の再整備計画ではデッキ・地上・地下の動線の改善が挙げられていますが、実現にはまだまだ時間がかかりそうです。

<乗換動線の改善イメージ>



移動動線の改善イメージ(参照:神戸市HP)

地上から地下への移動ルートにはビルのエレベーターを利用する方法もあります。ビルのエレベーターの方が近い場合は台数も多く時々利用しますが、途中の階だとすでに多くの人に乗っていることが多く、やはり何台も待ちます。先日ミント神戸でスーパーを利用した時に店内が混雑していて出口に進めず、入口と反対側にあるオフィス用のエレベーターを利用することにしました。オフィス用のエレベーター3台のうち地下街や歩道橋に直接つながっているのは一番奥のエレベーターです。



ミント神戸のエレベーター(上)とボタン(下)



さっそく利用しようとしたのですが、エレベーターのボタンには「上」しかありません。フロア表示もないのでエレベーターが

今何階にいるのかも分からず、やっと来ても満員で見送り…。10分近く待ちましたが結局諦めて混雑している店内を引き返しました。オフィスビルを中心に最近フロア表示のないエレベーターが増えています、どのくらい待てばよいのか予測がつかず不便です。

三宮へ行った時にいつも困るのが「トイレ」の問題です。地下街にも車いすトイレは何か所かあ

りますが、狭いうえに多くが一般トイレの男女の入口の奥にあり、介助者が異性だった場合は利用しづらいです。トイレを利用するためにわざわざミント神戸や神戸国際会館まで移動することもよくあります。駅構内のトイレは最近整備された場所が多く、比較的利用しやすいのでなるべく利用するようにしています。



さんちかのトイレは入り口の奥に車いすトイレ



広くて使いやすい阪神神戸三宮駅のトイレ

三宮へのアクセスで鉄道の次に私が利用するのが路線バスです。昼間は市バスが1時間に1~2本と本数は少ないですが、家の近くから乗車できるのでとても便利な交通手段です。また三宮から帰る時も私が利用する路線は三宮が発発なので車いすで確実に乗車できます。ただ三宮駅周辺にはバス停が点在していて、慣れていない人にとってはとてもわかりにくいです。また道路上にあるバス停の一部には複数の路線が停車するところもあり、次々にバスが来るので素早く乗降できるかどうか毎回不安になります。



幹線道路にあるバス停

自宅から三宮までの距離は約3キロで徒歩でも40分ほどなので気候が良い日は公共交通機関を使わずに帰る時もあります。今外出は基本的に電動車いすですが、三宮南側のみなどのもり公園からHAT神戸まで遊歩道が続いているので快適に移動することができます。しかし遊歩道の入り口にはゲートがあって私の操作技術では最低速度にして何度も切り返しながらから通らなければならない、通過するのにいつも苦勞します。バイクなどの侵入を防ぎたいのですが、もう少し何とかならないものかこのゲートを通るたびに思っています。



通過するのに苦勞するユニバーサルゲート

あと10年もすると三宮駅周辺は再開発で大きく変わるのだろうと思います。またバリアフリーの面でもおそらく改善されていくとは思っています。つい先日にも神戸新聞に駅前の歩道橋にエレベーターを設置すると記事が載っていました。しかし中途半端なバリアフリー化ではせっかく再整備しても意味がありません。当事者の声を反映させた「だれでも利用しやすい」町になることを願っています。